

令和6年度 キャリア教育で求めるもの ー豊後大野市教育委員会ー

キャリア教育とは、1人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく）を促す教育のことを言います。このキャリア教育は、教育基本法第2条の「教育の目標」と通じるものがあり、日々の教育活動を通して取り組まれるものです。そこで豊後大野市教育委員会では、観察・実験やレポートの作成等体験的な学習、知識・技能を活用する学習や勤労観・職業観を育てるためのキャリア教育などを通して、学校生活と社会生活や職業生活を結びつけることにより、学習意欲を喚起することの大切さを確認し、すべての学校で推進します。内容においては、学校の独自性や小中一貫教育の実績を踏まえ、下記のようなキャリア発達を期待して、各学校の創意と工夫で特色ある活動を展開します。

1・2年生	3・4年生	5・6・7年生	8・9年生
①あいさつや返事をする。 ②小学校生活に適應する。 ③身の回りのことに関心を高める。 ④好きなことを見つけて伸び伸びと活動する。	①友だちと協力して活動する中で関わりを深める。 ②自分の持ち味を發揮して役割を自覚する。	①自分の役割や責任を果たし役立つ喜びを体得する。 ②集団の中で自己を生かす。 ③自己の進路に夢や希望を持つ。	①自他の個性を尊重し人間関係を円滑に進める。 ②社会の一員として義務と責任を理解する。 ③将来設計と困難を克服するための努力をする。

キャリア教育で子どもたちの未来づくり[キャリア教育構成図]

